

健康のきずな

(第249号)

2024年7月5日発行

東葛健康友の会

TEL・FAX 04(7159)1075

発行人 江口正博

編集人 村上ひろみ

新聞代は会費に含まれています。

『核兵器のない世界へ』

日本の核兵器禁止条約

参加を実現しよう！

ロシアのウクライナ侵略、パレスチナでのガザ住民に対するイスラエル軍の無差別の殺りくがつづき、核兵器使用の威嚇がくり返されています。また、すべての核保有国が「核抑止」論にしがみつき、核兵器の使用につきながりかねない危険な戦争と対立が続いています。同時に、この危機は、核兵器や「核の傘」、巨大な軍備が、不当な侵略や殺りくと威圧の道具にすぎないことを日々、明らかにしています。

いま、世界ではこの危機に対して、人類の生存と安全、平和を確保するために、この危機に先んじて、核兵器のない世界を実現しよう！

健康づくり・仲間づくり
友の会をさらに大きく

6月24日現在
2024年度入会者数 71人
総会員数 8488人

「友の会」の仲間増やしにお力をおかしてください。



世界大会に参加する病院職員と共に平和行進の先頭を

手をたずさえて被爆者医療にとりくみながら、核兵器廃絶を訴えてきました。東京で早くから被爆者医療に取り組んできたのが、代々木病院の千葉正子医師です。代々木病院における被爆者医療の実践は、「最も困難な人たちの立場に立ち、安心して利用できる医療と福祉の充実を目指す」東京勤労者医療会の誇るべき特質です。

被爆の実相が世界にひろがり、「ノーモアヒバクシャ」の訴えが国連を動かし、核兵器禁止条約が締結されました。広島・長崎をはじめとした被爆者の運動、日本原水協など核兵器廃絶を求める日本国民の運動と世論が推進力となりました。民医連、そして東葛病院もその一翼を担ってきました。



「署名にご協力ください」の訴え

6月6日には8人で、横断幕やプラスタを掲げ、「大軍拡・大増税ノー」のチラシを配りながら、「核兵器禁止条約への日本政府の参加」、「9条改憲ストップ」、「現行の健康保険証を残して」の署名を訴えました。

車で駐車場に入る時にこの行動を見た青年が、「日頃、何かしなければ、と思っていました」と進んで署名に協力しました。

6・9友の会デー行動 平和への願いを署名に

日本は「唯一の戦争被爆国」であり、戦争の放棄と国際紛争の平和解決を憲法で誓った国として核兵器禁止条約に参加し、非核平和の東アジアを主導していかねばなりません。日本の平和と安全は、アメリカの「核の傘」やアジアに予先を向けたミサイルの配備、大軍拡の戦争準備

「友の会」は、東葛病院とともに、毎月6日「広島の日」、9日「長崎の日」に東葛病院の正面玄関前で署名宣伝行動を行っています。

「核兵器のない」世界と日本の核兵器禁止条約への参加を実現する重要な大会です。東葛健康友の会は、これまで、毎月6・9行動、毎年9月の世界大会、平和行進などに参加してきました。今年も世界大会に代表を送ります。代表派遣カンパへのご協力をお願いします。

2024年
原水爆禁止世界大会
の成功へ

では守れません。広島、長崎に原爆が落とされてから79年の今年8月3日〜9日、広島と長崎で原水爆禁止2024年世界大会が開催されます。今年の世界大会は、世界的な平和に対する逆流と岸田政権の危険な暴走にストップをかけ、「核兵器のない」世界と日本の核兵器禁止条約への参加を実現する重要な大会です。

【健康講座】③

機能性表示食品と健康被害

紅麹サプリメント事件

薬剤師(元・外苑企画商事) 藤竿 伊知郎

3月から問題となった紅麹サプリメントによる重い腎機能障害。事件の全容解明には情報が不足しており、健康食品や発酵食品に不安を感じるようになったのではないのでしょうか。小林製薬は、紅麹の成分が「悪玉コレステロールを下げる」と宣伝し、機能性表示食品として販売していました。

紅麹は蒸した米にカビの仲間の紅麹菌を繁殖させたもので、限られた伝統食品で着色や風味付けに利用されてきました。みそ・しょうゆ・日本酒など、日本の伝統的な発酵食品に使われる米麹とはまったく種類が違う菌です。

食品は医薬品と違い、疾病の治療・予防につながる効能を宣伝できません。例外として、特定保健用食品（トクホ）と機能性表示食品があります。トクホの申請にはヒトでの比較臨床試験が必要で、数千万円の費用と審査時間がかかり、不合格になるものもあります。業界の要望を受けた規制改革の一環として、「科学的根拠」を資料として届け出るだけで健康に関する機能表示ができる制度は2015年に、スタートしました。



今回問題となったのは、濃縮した物質を継続的に長期間摂取するサプリメントの危険性です。

政府は5月31日に、健康被害報告と、適正製造規範（GMP）を義務づける方向で対応策をまとめました。

昨年12月には、けん怠感や尿の異常で受診する人が増え、専門医が1月に企業に情報を提供したのに3月22日まで公表しなかった遅れが、被害を拡大しました。どのような人に被害が起きたのか、病態の分析が必要です。

製品には「肝機能検査で異常のある方は医師にご相談ください」という注意事項が書かれていましたが、高齢者や病気を持っているなどのリスクが高い人の利用を避けることができませんでした。

製造過程で混入した青カビが注目されていますが、健康被害を防ぐための製造管理には、原因物質の特定が必要です。GMPの実施監督では、製造現場の立ち入り調査などで専門知識のある監督官の増員が必要です。

対策が実現するには数年単位の時間がかかります。サプリメントを利用して、体調不良を感じたときは、すみやかな服用中止と受診をおすすめします。

にはもつと歌うべき歌があるでしょう」と言われて、この歌に向き合い、歌うようになったこと、再び沖繩を、世界を戦場にしてはなりません。鉄の雨がふらない世界を目指して私たちががんばります。森山さんもいつまでも歌い続けてください。(江)



夏になると聞きたくなる曲があります。森山良子さんの「さとうきび畑」です。▼作曲家の寺島尚彦さんが作詞も手掛けました。今なお多くの遺骨が眠っている沖繩を訪れた際に着想したもので、さとうきび畑を流れる風の音を考えに考えて、「さわさわさわわ」と表現したそうです。詩は全部で11連からなり、2001年に森山良子さんが完全版として出したものは10分17秒にもなります。私がいまも聞いているものです。▼森山さんが1969年にレコーディングした後も、上条恒彦さんなど多くの方がカバーされているそうです。▼森山さんは、『戦争を知らない私が歌う資格があるのか』と悩み、30年ほどは時々しか歌っていないかったそうです。ところが、湾岸戦争で自衛隊の派遣問題が出てきた頃、お母さんから、『あなたにはもつと歌うべき歌があるでしょう』と言われて、この歌に向き合い、歌うようになったこと、再び沖繩を、世界を戦場にしてはなりません。鉄の雨がふらない世界を目指して私たちががんばります。森山さんもいつまでも歌い続けてください。(江)